

2 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	目標：ムオンチャ郡とトアンザオ郡の女性と女兒(12-30 歳)の人身取引や女性と子どもに対する暴力 (Violence Against Women and Children、以下 VAWC) のリスクから身を守ることができるようになる 達成度：事業目標は達成できた。 女兒の 95%、保護者の 90%、および女性の 88%が、事業地域を安全な環境であると感じており、人身取引や VAWC の予防・対応について知識の向上が認められた。また、過去 1 年間で身体的暴力を受けた子どもは 16.8%から 6.5%に、女性は 14.2%から 5.6%に減少した。人身取引の被害件数は全事業期間を通して 0 件であったが、3 年次に CPC が対応した件数に減少傾向が見られたことと上記指標の大幅な減少から、上位目標である「人身取引や VAWC の被害にあう件数の減少」が達成できたと考える。 目標：1-2 年次に作られたムオンチャ郡とトアンザオ郡における女性や女兒を守るための地域社会の仕組みが地域住民に活用され、実際に女性と女兒が人身取引や VAWC のリスクから身を守ることができる 達成度：目標は概ね達成できた。目標の達成を示す十分な成果が確認できた一方、人身取引や VAWC に関するサービスや仕組みについての知識など一部の指標が目標値に至らなかった。人身取引被害など深刻なケースの発生が稀で報告などは実践の機会が少なく知識の定着が不十分であったことが考えられるが、事業終了後も、コミュニティ・センターを拠点に女性グループ・子どもクラブ・子どもの保護委員会が活動を継続することで、女性・女兒を守る地域の仕組みが定着し、地域住民にも広く知られ活用されることが期待できる。
(2) 活動内容	本事業は 3 年間で計画した事業の 3 年目であり、2022 年 3 月に開始した。各活動の実施内容の詳細は以下の通りである。 成果 1：コミュニティ・センターで、女性（19-29 歳）が人身取引や VAWC の現状と対策、リーダーシップスキルを学び、リスクへの自覚と知識が備わる <u>活動 1-1. コミュニティ・センターの新築・改築</u> 計画通り、4 棟（トアンザオ郡ランドンコミュニンで 2 棟、ムオンチャ郡ホイランコミュニン、トアンザオ郡タマコミュニンで各 1 棟）のコミュニティ・センターの建設を完了した。コミュニティ・センターを女性の活動拠点とするため全棟に子どもが遊べるスペースと授乳や着替えができるスペース、男女別のトイレを設置した。 また、全 4 棟に視聴覚機材などの備品を設置し、研修やクラブの活動がより円滑に、かつ効果的に実施できるようになった。 第 3 年次の建設完了が 2022 年 12 月末、管理の責任を担うコミュニン人民委員会への引き渡しは 2023 年 1 月に行われたため、事業期間中に新設した 4 棟を使う機会は限られていた。しかし、第 1・2 年次に建設した計 8 棟は女性グループや子どもクラブの活動、事業以外の地域・村の会議などに活用されていることが確認できた。利用規則の策定やセンター内部の装飾など、地域の人々の自主的な取り組みも多くみられ、新設した 4 棟も今後十分活用されることが期待される。 <u>活動 1-2. 人身取引と VAWC から自分と子どもを守るためのスキル研修</u>

人身取引や VAWC から自分と子どもを守るためのスキルを向上させるため、3 年次も引き続き各村に設置した計 43 の女性グループの活動能力強化を通して自立的な地域の拠点を構築することに注力した。

女性グループは、人身取引や安全な出稼ぎ、ジェンダー平等についての知識を対象地域に広めるうえで重要な役割を担うとともに、少数民族女性の生計向上を目指した貯蓄グループ活動の基盤でもある。また、女性や女兒のための保護ネットワークを地域の中心地域から遠く離れた地域にも拡大するため、遠隔の家庭を訪問している。遠隔地で人身取引や暴力の危険にさらされやすい女性に対する啓発を継続し、活動成果の強化に努めた。

第 3 年次は、43 の女性グループが 860 人のメンバーに対して計 172 回のグループセッションを実施した。また、遠隔地に居住するもしくはグループセッションに参加できなかった女性を対象とした個別セッションは計 129 回実施し、各村で 10 人が参加した。どちらのセッションにおいても平均 80%以上の参加者に知識の向上が見られた。

また、コミュニンの女性連合スタッフが中心となって実施する月例会は第 3 年次を通して計 430 回開催し、1,050 人以上が継続的に参加した。月例会では女性グループや貯蓄グループの活動を振り返り、情報交換および次月の取組みについて確認する機会とした。

活動 1-3. リーダーシップ研修

第 3 年次は、女性たちが 1・2 年次のリーダーシップ研修で学んだスキルを用いて、女性主導の啓発イベントを計 14 回（各コミューン 2 回）実施した。

上半期に、ムオンチャ郡の 3 コミューンから女性連合・女性グループメンバー計 51 人が郡の市場でのイベント（活動 4-2、詳細後述）に一部参加した。このイベント時には情報ブースを出展し、ゲームなどで参加者の関心を引きつつ啓発メッセージを拡散する方法を実践した。各コミューンでも同様の啓発イベントを実施し、情報拡散の機会を設けた。

トアンザオ郡では、下半期に女性連合や行政の関係者との話し合いの機会を企画した。人身取引や VAWC、子どもの保護、ジェンダー平等などの課題について、意見交換および解決・予防策についての協議を持ち、地域の女性たちの声を直接届ける機会を得た。

成果 2：女兒（12-18 歳）が、学校や子どもクラブでの活動を通して人身取引や VAWC のリスクから自分と友人を守るスキルを身につける

活動 2-1. 女兒に対するライフスキル研修

子どもクラブは、女性グループとともに対象地域の啓発活動において重要な役割を担った。第 3 年次は、学校ベースの 7 グループ、村ベースの 14 グループの計 21 の子どもクラブの活動能力強化に注力し、ファシリテーターとメンバーへのサポートを行った。子どもクラブの活動を通して、メンバーの子どもたちはコミュニケーション・スキルや問題解決能力、安全なインターネットの使い方、安全な出稼ぎなどのトピックについて学んだ。

第 3 年次の始めに、3 日間の指導者育成研修(Training of Trainers、以下 ToT)を実施し、計 107 人のファシリテーターがライフスキル研修の内容や実施方法を再確認した。その後、ファシリテーターによって 21 の子どもクラブを対象にライフスキル研修を 2 回ずつ実施した。各回約 590 人の子どもが参加し、うち 80%以上に知識の向上が見られた。

また、研修を受けた子どもたちが中心となり、啓発イベントを計 14

回実施した。これらのイベントを通して計 4,800 人以上に人身取引や暴力の予防について学ぶ機会を提供することができた。

活動 2-2. 女兒が自発的に地域でイベントを計画・実施する

先述の通り、子どもクラブの活動能力強化のため、その意義と活動について話し合い理解を深めるための月例会を実施した。第 3 年次に、学校ベースのクラブは計 70 回、村ベースのクラブは計 140 回の会合を開き、計 630 人のメンバーが継続して参加した。

ディエンビエン省内での校外学習は、ムオンチャ郡から 62 人（生徒 51 人、引率の先生 9 人、統率の郡行政関係者 2 名）、59 人（生徒 48 人、引率の先生 11 人）が参加した。ムオンチャ郡の生徒たちはトアンザオ郡の中学校、トアンザオ郡はムオンチャ郡と近隣のディエンビエン郡の中学校を訪問し、ライフスキルに関する演習やクラブ活動についての情報共有を通して交流を深めた。

ライフスキル研修で学んだことを活かして、啓発イベントを計 14 回計画・実施し、計 520 人が参加した。人身取引や暴力の予防についてのメッセージの発信のため、郡・コミュニケーションでのイベントに合わせた活動やフェイスブックでのグループ立ち上げ、学校・行政への働きかけなどと女兒たちが企画し実行した。

成果 3：女性と女兒が収入向上の術を会得する

活動 3-1. 女性と女兒が就労のための基本的なスキルを会得する

女性と女兒が就労のための基礎的なスキルを身につけるための研修を実施した。対象村のハイリスクの女性に、話の聞き方や学んだことの復習の重要性、簡単な計算などの基本的なライフスキルについて、クラス形式の研修を計画通り 30 回実施し、計 813 人が参加した。また、クラス形式に参加できない女性たちを中心に、家庭ベースの研修を計画通り 60 回実施し、計 300 人が参加した。

また、実際に働く際に必要となるコミュニケーション・スキル、チームワーク、問題解決能力、自己管理能力、安全な出稼ぎの知識などを会得する研修を実施した。この研修は、女性・女兒を対象にそれぞれ 43 回行われ、計画より多く女性 930 人以上、女兒 900 人以上が参加した。特に対象となった女兒の多くは中学校を卒業して進路を検討している段階で、こうしたスキルの取得は安全な職に就くために非常に重要である。

新型コロナウイルス感染拡大の影響等もあり、ディエンビエン省内でのビジネスや就業機会が限られ、省外での就職へのニーズおよび関心が高まっている。本事業では、ディエンビエン省の Job Information Center と連携し、政府が承認したディエンビエン省内外の安全な求人情報を紹介した。Job Information Center の担当職員を招聘しての求人イベントを計 7 回実施し、約 460 人の参加者に情報提供した。

活動 3-2. 女性が収入向上のための基礎的なスキルを会得する

女性グループのメンバーを中心に、生計向上の手段のひとつとして弊団自己資金にて家畜の供与を実施した。本事業では、3 年次は家畜の飼育に関するリフレッシャー研修を実施した。クラス形式の研修は 43 村で 1 日ずつ実施し、計 930 人の参加者が 1・2 年次で学んだことを復習した。また、クラスに参加できない女性を中心に、家庭ベースの研修を計 156 回実施した。

貯蓄グループは生計向上のための重要な取り組みと位置付けられており、郡の女性連合の監督の下で 43 のグループで 900 人以上のメンバーが活動していた。これまでに貯蓄額は 8.85 億ベトナムドン（522 万円）で、この間に約 540 回の融資を行っている。このうち 7 割は生

計向上が目的で、その他子どもの教育や保健栄養に関する支出のために融資を受けている。

成果 4: 人身取引と VAWC の予防のための枠組みが効果的に実施される活動 4-1. 人身取引と VAWC の予防策、ジェンダー平等の基礎知識のある子どもの保護委員会（以下 CPC）が機能する

第 3 年次の事業終了前に、コミュニケーション・郡政府および CPC と、本事業の活動引継ぎプランについて検討した。事業の活動主体である女性グループ、子どもクラブ、CPC の今後の活動について各コミュニケーションがワークショップ（計 7 回実施）にてアクションプランを策定し、郡レベルでその内容の確認および実行することで合意した。郡レベルで予定していたワークショップは省都にて両郡合同で実施し（変更報告第 6 号）、ディエンビエン省の人民委員会にも事業の成果と今後の計画について共有することができた。

報告システムの強化およびハイリスクへの人々への支援のため、前年次までに策定したガイドラインに基づいたリフレッシュ研修を各郡で実施し、郡およびコミュニケーションレベルの CPC メンバー 66 人が子どもの保護に関する制度と報告・対応システムについて再確認した。プレ・ポストテストの結果によると参加者の理解度はムオンチャ郡で 47.9% から 90.3%、トアンザオ郡で 17.8% から 96.3% に上がった。

また、主に CPC に報告されたケースへの対応およびその対象者を中心に行う家庭訪問に取り組んだ。家庭訪問は計画通り 160 世帯を対象に 6 カ月間継続して実施し、暴力などの被害を受けたもしくはハイリスクにあたる女性たちの状況の経過把握、状況改善に向けたアクションプランの検討および進捗のモニタリングなどを実施した。家庭訪問については各コミュニケーションの CPC の月例会（活動 4-3）で報告を行っており、更なる対応が必要なケースがあれば CPC が介入できるようにしている。

レファラル・パートナーに対しては、サービスの質向上を目指したワークショップを実施した。関係者を集め、最近のベトナム国・行政全体の方針や現在のサービス提供方法の再確認、また実際の経験に基づく教訓や課題の共有などを行った。郡レベルで計 2 回実施し、計 54 人が参加した。省レベル（1 回）では計 46 人が参加し、上記に加えて CPC の事業終了後の活動継続についても検討した。

活動 4-2. 地域の人々が人身取引と VAWC の予防策、ジェンダー平等についての啓発メッセージを受け取る

ToT を受けた CPC メンバー主導のもと、ジェンダー平等や人身取引や VAWC のリスクと対策をテーマとした啓発セッションを、地域住民を対象に実施した。会場であるコミュニティ・センターに赴いて参加した人に加え、遠隔地にある家庭にはモバイルチームが訪問して啓発メッセージを伝えた。報告期間中にクラス形式は 86 回、戸別訪問形式は 43 回実施し、それぞれ約 1,700 人、約 540 人が学んだ。

子どもが家庭の中で十分に守られて安全に生活できるよう、家族・夫婦のきずなを深める研修を実施した。対象村で弊団の地域開発プログラムが実施している「肯定的なしつけ方法」および「セレブレイティング・ファミリーズ」の研修を、ハイリスクの女性を対象に 21 回ずつ実施した。

人身取引や VAWC の予防、ジェンダー平等について事業対象地の人々に広く伝えるため、3 年次は、7 月末の「人身取引反対世界デー」に合わせて郡レベルでイベントを開催した。人が多く集まる各郡中心部の市場にてダンスや寸劇、ゲームなどを通して予防啓発のメッセージを発信した。トアンザオ郡は郡レベルで 1 回、ムオンチャ郡は、郡政府

関係者の推奨を受けて各地で啓発イベントを行っている警察学校と連携して郡レベルおよびコミューンレベルのイベントを1回ずつ開催した（これにより生じた追加支出は自己資金）。加えて、コミューンレベルでは、トアンザオ郡は2022年10月に4つのコミューンでイベントを開催し、ムオンチャ郡では2023年1月に開催された春祭りにて、残りの2コミューンの女性たちが中心となってブースを設置・運営し、啓発メッセージの伝達に取り組んだ。

さらに、2022年11月末には国連ウィメンが中心となって実施した「ジェンダーに基づく暴力に対する16日間の行動キャンペーン」に協働した。本事業からは女性・女兒とステークホルダー約200人が、スポーツイベントやダンスなどのパフォーマンスを通じた交流、国連ウィメンによる式典などに参加し、他の参加者や省都の人々への啓発メッセージ伝達を目指した。また、このイベント参加したトアンザオ郡女性連合が自主的に郡内で同様のイベントを企画・開催した。本事業では女性グループのメンバーなどの参加費用を支援しイベントの効果的な開催に貢献することで女性連合のオーナーシップ醸成を図った（変更報告第5号）。

活動 4-3. 郡政府が学校及び地域での活動をモニタリングする体制が構築される

本事業の活動と監督を担っているCPCおよび郡政府が活動を継続できるよう、女性グループリーダーが計画作成・振り返りの会議を定期的に行う。計70回の月例会を通して、毎月平均93人（7コミューン合計）が活動の振り返りと村で発生した事例などを共有し、今後の活動に活かすための話し合いを行った。

同様に、CPCも活動計画策定のための月例会議および四半期ごとの振り返りを実施した。計70回の会議に、毎月平均約190人（7コミューン合計）が参加し、家庭訪問（活動4-1）の報告および事例への対応もこの場で行っている。

事業のまとめの一環として、女性グループと子どもクラブの活動についてビデオとブックレットの形式でまとめた。本事業の目標と主な活動に言及しつつ、受益者である女性・女兒の声を主な焦点とした。完成したビデオは省都でのワークショップ（活動4-1）の際に上映し、計画していた郡政府の関係者に加えて女性・女兒や省レベルの代表者を含むワークショップ参加者に事業の好事例・教訓を共有した。

各コミューンのCPCメンバーは、好事例や教訓の学び合いのために他の地域を訪問した。ムオンチャ郡では郡内でコミューン同士の視察訪問を実施し、計18世帯から好事例を抽出して共有することができた。また、3年次は他郡への視察において、この活動の成果がより効果的に活動に活かされることを目指し、活動の中心である女性グループのメンバーを含めることとした（変更報告第3号）。結果、ムオンチャ郡からは当初の計画と合わせて計30人、より女性グループの数が多いトアンザオ郡からは計画の2倍にあたる58人が参加した。特にトアンザオ郡からの視察においては、訪問先のムオンチャ郡の女性グループのメンバーとの交流の時間を設け、グループの活動実施や家畜の世話における好事例や教訓を直接共有し合う機会とした。

上記に加えて、2022年8月にジェンダー・人身取引予防の日本人専門家による現地視察を実施した。申請時は一部オンライン実施を予定していたが、ベトナム国の渡航制限が緩和されたため、2名の事業地訪問に変更した（変更報告第3号）。両郡において、活動の視察およびインタビューを実施し、事業の効果や終了時評価、持続可能性について助言および提案を受けた。

</

¹ これ以降の表に記載されているベースライン調査の結果は全て 2020 年 11 月時点の数値。

本指標は、啓発によって暴力の報告が増える側面と、啓発によって暴力の件数そのものが減る側面と 2 つあることを鑑み、報告件数と合わせてみていく指標となっている。報告件数は、いったん上昇した後（報告が増える）、2 年次以降減っていく（暴力件数が減る）傾向を想定していたが 2 年次終了時は件数が増加した。終了時は目標件数よりも 1 件多い結果となったが、想定通り減少傾向がみられた。

暴力の報告については、2 年次終了時に続き終了時評価でも目標を大幅に超える結果となった。引き続き女性グループおよび子どもクラブの活動が継続的かつ活発に実施されてきたことに加え、ベトナム政府による人身取引に関する取り組みの強化などの外部要因も影響したと考えられる。

【指標】：コミュニティ・センターを月に 2 回以上の頻度で利用している村人の割合（ジェンダー・年齢別）が増える

	ベースライン	1 年次終了時	2 年次終了時	終了時
目標		23.1%	46.2%	55.4%
結果	0%	26.0%	57.9%	50.0%

19-30 歳の女性の 50%が月に 2 回以上の頻度でコミュニティ・センターを利用していると回答したが、目標値を 5.4 ポイント下回った。この指標は、既存のセンターの数を母数としているが、調査実施時は 3 年次の建設が完了した直後であり、新しい 4 棟はまだ本格的に利用されていなかった。

また、事業による女性グループの活動は調査実施時の 1 カ月前に終了し、本調査期間中は地域のステークホルダーによる活動継続に向けた準備・調整を進めていたため、直近の利用頻度が月 2 回を下回っていた女性も数多くいた。

目標の未達成および 2 年次終了時からの数値の減少はこれらの影響によるものと考えられる。事業終了時まで、新しいコミュニティ・センターの利用開始と、ステークホルダーによる女性グループの活動実施が確認できており、コミュニティ・センターの利用率の維持もしくは上昇が期待できる。

【指標】：Smart Navigator Toolkit にのっている人身取引と VAWC 予防の知識が向上した保護者と女性グループリーダーの割合が増える

	ベースライン	1 年次終了時	2 年次終了時	終了時
目標		60.0%	65.0%	70.0%
結果	0%	88.0%	72.0%	83.0%

終了時の結果は目標を 13 ポイント上回った。これは、女性グループの活動が定期的かつ活発に実施されてきたことや、ベトナム政府による人身取引に関する取り組みの強化などの外部要因も影響したと考えられる。

【成果 2】 女兒（12-18 歳）が、学校や子どもクラブでの活動を通して人身取引や VAWC のリスクから自分と友人を守るスキルを身に付ける

【指標】：ライフスキルの知識が向上した女兒の割合

	ベースライン	1 年次終了時	2 年次終了時	終了時
目標		70.0%	75.0%	80.0%
結果	0%	85.0%	73.1%	82.0%

子どもクラブの研修受講者のみを対象に研修後に実施したポストテストで 70%以上取得し、合格した女兒の割合。事業終了時は、目標値を 2 ポイント上回る結果となった

【成果 3】女兒と女性が収入向上の術を会得する

【指標】：女性と女兒がいる家庭で年収が少なくとも 20%増加した家庭の割合

目標：27% 結果：20.5%

本指標は、事業による生計向上に関するトレーニングおよび弊団自己資金にて実施した家畜供与の成果として設定した。家畜供与は 2 年次以降に実施したため、収入の増加は終了時評価でのみ計測した。結果、供与した家畜の一部は売却できるようになるまで 2 年程度を要し、事業期間中に収入に繋がらない世帯も数多くあったことから、目標値を 6.5 ポイント下回る結果となった。

収入が増加した世帯の半数は、供与された家畜を増やすことで収入を増やせたと回答した。女性グループでは、家畜の状態確認を通してメンバーの成功体験を共有することを奨励していたり、貯蓄グループの融資を利用して家畜を追加購入したり、数世帯で協力してより効率的に飼育を行う事例が多く確認されていることから、これから多くの世帯で家畜の飼育・繁殖による収入向上が期待される。

【指標】：研修で学んだ方法に則って家畜を育てている女性グループのメンバーの割合が増える

	ベースライン	1 年次終了時	2 年次終了時	終了時
目標		60.0%	65.0%	70.0%
結果	0%	未計測	71.7%	99.4%

2 年次から 3 年次にかけて家畜供与を実施し、目標を大幅に超える 99.4%の女性が研修で学んだ方法を実践できていると回答した。

【指標】：紹介された安全な職の詳細を問い合わせ、または応募した女兒と女性の割合

	ベースライン	1 年次終了時	2 年次終了時	終了時
目標		10.0%	15.0%	20%
結果	0%	18.0%	20.0%	24.3%

求人イベントで紹介された安全な職の詳細を問い合わせた女兒と女性の割合は目標値を 4.3 ポイント上回る結果となった。

【成果 4】人身取引と VAWC の予防のための枠組みが効果的に実施される

【指標】：子どもの保護委員会が対応したケースの数が減る

	ベースライン	1 年次終了時	2 年次終了時	終了時
目標		11 件	10 件	5 件
結果	0 件	9 件	11 件	6 件

報告件数は、いったん上昇した後（報告が増える）、2 年次以降減っ

ていく（暴力件数が減る）傾向を想定していたが2年次終了時は件数が増加した。終了時は目標件数よりも1件多い結果となったが、想定通り減少傾向がみられた。

【指標】：自分の住む地域が女性と女兒にとって安全であると感じている保護者・両親の割合が増える

	ベースライン	1年次終了時	2年次終了時	終了時
目標		60.0%	66.0%	78.0%
結果	56.6%	73.0%	82.2%	90.9%

終了時の結果は目標値を12.9ポイント上回る結果となった。これは、研修や啓発活動を通して、自分や子どもたちに何か危険が迫った際でも適切に対処できる自信があると感じている保護者・両親が増えたためだと考えられる。

【指標】：人身取引とVAWCの問題の鍵と、予防に関して自分の役割・責任を理解している政府スタッフの割合

	ベースライン	1年次終了時	2年次終了時	終了時
目標		65.0%	70.0%	75.0%
結果	36.0%	65.0%	89.5%	93.4%

研修に参加した政府スタッフへの調査票の回答より計測した結果、目標値を18.4ポイント超えた。研修の実施に加え、あらゆる場面で政府と協働・情報共有をすることで、自らの役割・責任の理解を促すことができたためと考えられる。

【指標】：CPCによって郡政府に活動の好事例や教訓が共有された数が増える

目標：2件 結果：2件 （ベースライン・1年次は実施なし）

2年次に引き続き、動画およびブックレット形式で女性グループと子どもクラブの好事例や教訓をまとめ、郡政府および事業関係者が集まる機会にてこれを共有した。

【SDGs への貢献】

女兒・女性に対するVAWC予防の啓発活動、能力やスキルの向上、生計向上の活動実施とその成果を通じて、以下の目標実現に貢献した。

目標 5 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女兒の能力強化を行う。

5.2 人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべての女性及び女兒に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。

目標 16 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。

16.2 子どもに対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する。

(4) 持続発展性	事業終了後に活動を自立発展的に継続するため、1 年次より、事業の中核となる CPC のオーナーシップの向上を念頭に、協力体制の強化や情報共有などに注力しながら活動を実施した。 さらに、事業終了を前に、事業の主な成果と活動主体を①建設したコミュニティ・センター、②女性グループ、③子どもクラブ、④CPC に始まる地域の子どもの保護システムであると確認し、それぞれの持続性について各コミューンがアクションプランを策定した。これを郡レベルで確認・合意することで、事業のカギとなる成果および活動の持続性を担保する形をとった。 各項目についての持続性に関する計画は以下の通り。 ① コミュニティ・センター 事業で建設したコミュニティ・センターは、建設が完了した時点で各コミューンの人民委員会に引き渡している。長期間の適切な管理・運営のため、使用規則を作成することとした。規則には、清掃や記録方法を含む利用方法や鍵・備品の管理方法、修理が必要となった場合の対応などが含まれる。村およびコミューンがこの規則に沿ってコミュニティ・センターの管理・運営を責任を持って行うことで合意した。 ② 女性グループ 事業で形成した女性グループは、コミューンの女性連合と DoLISA の下で活動を継続することとした。事業終了後に各グループで月次会合の日程を再確認し、人身取引や VAWC に関する報告や貯蓄グループの活動、家畜の状況確認を継続する。会合は低予算で実施できるため必要に応じて貯蓄グループの利息などを活用する。啓発イベントなどの活動を実施する際には、その主催者となる地域開発プログラムや女性連合の予算を使用する。 ③ 子どもクラブ 子どもクラブは、学校および地域に既存のクラブ活動に組み込んで継続することとした。学校ベースのクラブは、各学校の類似するプログラムにメンバーを参加させ、村ベースのクラブは各地域開発プログラムで設置している子どもクラブに組み込むことで合意した。これらの既存のクラブはより広い年齢層および男子も対象となり、事業で扱ったライフスキルや人身取引・VAWC に関する内容以外の分野（保健衛生や教育など）も扱うこととなる。 ④ 子どもの保護委員会 子どもの保護委員会の定例会合は、コミューン代表者の月次会合のアジェンダに組み込むこととした。報告されたケースのモニタリングおよび情報共有や活動計画策定などはこの場で継続して実施する。また、被害を受けたもしくはハイリスクにあたる女性たちを対象とした世帯訪問も効果が認められ、継続することとなった。女性連合や他の行政機関が実施している類似の活動と合わせて実施する。 上記に加え、ワールド・ビジョンは本事業の事業地において、自己資金による地域開発プログラムを展開している。ムオンチャ郡は 2025 年、トアンザオ郡は 2025 年まで事業が継続する。そのため、事業の終了後も適切に活動が継続されているか、開発プログラムの活動の一環として適宜モニタリングを実施する。
------------------	--